

乳がん検診を受けられる方へ



◎乳がん検診について

《 乳がん検診の検査方法 》

当センターでは主に『マンモグラフィ検査』と『乳房エコー検査』を実施しています。

◆ マンモグラフィ検査(以下 マンモ)

乳房専用のX線検査です。乳がんの特徴である微細な石灰化を発見することができます。ただし、若い女性は乳腺が多く、乳腺と乳がんの区別がしづらいため不向きな検査とも言われています。

◆ 乳房エコー検査(以下 エコー)

手で触れただけでは判別しづらいしこりを発見することが可能とされています。微細石灰化はマンモと比較すると発見しにくいと言われています。比較的若い女性向きの検診です。

☆検診の結果は乳房の状態によって『A:異常なし』『B:軽度異常』『C:要経過観察』『D2:要精密検査』と判定されます。

※『E1:主治医要相談』『E2:主治医要観察』の場合は、かかりつけ医にご相談ください。

A:異常なし	検査の範囲では異常を認めません。今後も定期的に検診を受け、異常がないか確認していきましょう。ただし、自覚症状(しこりや痛み、乳頭から血や膿が出る等)がある場合は医療機関にご相談ください。
B:軽度異常 C:要経過観察	すぐに精密検査が必要な状態ではありませんが、異常が認められるため経過を見ていく必要があります。ただし、自覚症状がある場合は医療機関にご相談ください。
D2:要精密検査	がんなどの病気の可能性があるため、更に詳しい検査を受ける必要があります。要精密検査となったとしても必ずしもがんというわけではありませんが、必ず精密検査を受けてください。

《 精密検査の内容について 》

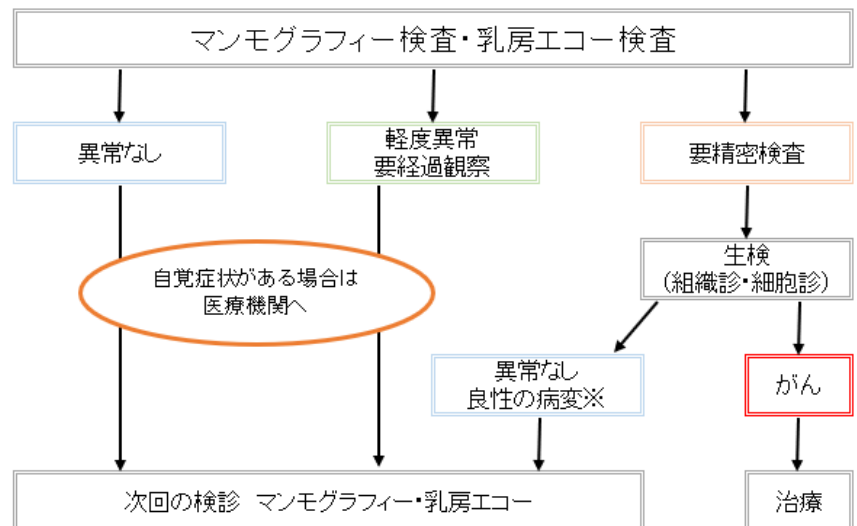
マンモの追加撮影やエコーの実施、細胞診や組織診、MRI 検査などがあります。

◆ 細胞診検査

がんと疑われる部位から注射器で細胞を採取し顕微鏡で観察する「穿刺吸引細胞診」と乳頭からの分泌液を採取して顕微鏡で調べる「分泌液細胞診」があります。

◆ 組織診検査

針生検・マンモトーム生検・外科的生検の3種類あります。いずれも採取した組織を顕微鏡で検査します。細胞診と比べ採取できる組織や細胞の量が多いためより詳しい検査をすることができます。



※ 良性と診断された場合は医師の指示に従ってください。

☆ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)のおすすめ

日頃の生活の中で次の4つを行きましょう。

- ① 乳房の状態を知る…入浴や着替えの際に乳房を見て、触って、感じてみましょう
- ② 乳房の変化に気を付ける…「いつもと変わりがないかな」という気持ちで取り組みましょう
- ③ 変化に気づいたら医師に相談する
- ④ 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

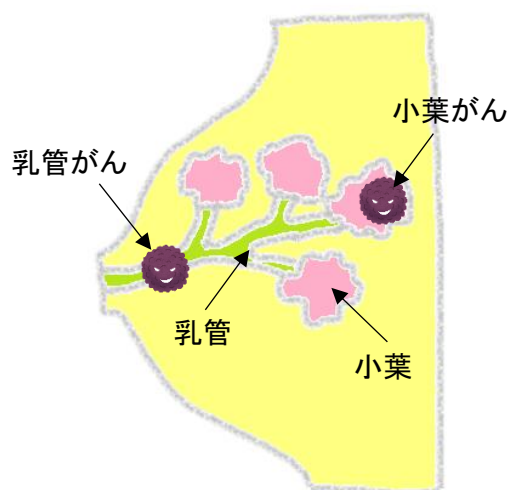


◎乳がんとは？

乳房の中にある、乳腺組織である乳管・小葉に発生するがんです。乳がんには『乳管がん』と『小葉がん』があります。約90%は乳管がんと言われています。

乳がんは、2020年の統計では女性の罹患数1位とされています。つまり女性が最もかかりやすいがんと言われています。

しかし、乳がんは小さいうちに見つけると治る可能性の高い病気です。早期に見つかった場合、90%以上治るとされています。進行すると、リンパ節や骨・肺・肝臓など乳房以外の臓器にがんが転移する可能性があります。



《 乳がんのリスク 》

乳がんのリスク要因としては、いくつか考えられています。

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| ① 初潮年齢が早い | ② 閉経年齢が遅い | ③ 出産歴がない |
| ④ 初産年齢が遅い | ⑤ 授乳歴がない | ⑥ 閉経後の肥満 |
| ⑦ 飲酒習慣 | ⑧ 近親者に乳がんの人がいる | ⑨ 良性乳腺疾患の既往歴 |
| ⑩ 経口避妊薬の使用 | ⑪ 閉経後のホルモン補充療法 | ⑫ 放射線への曝露 |

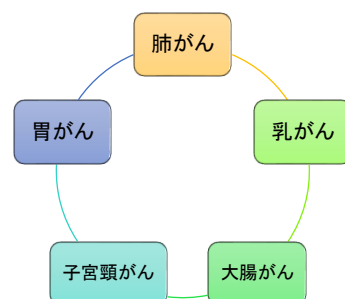
乳がんの発生・増殖には、性ホルモンであるエストロゲンが影響しています。

◎がん検診を受ける目的は？

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療へ早期につなげ、がんによる死亡率を減少させることです。

これまでの研究によって、胃・肺・大腸・乳・子宮がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見が可能となりました。また、早期のうちに治療を行うことで死亡率が低下することが証明されています。

ただし、全てのがんが発見されるわけではありません(偽陰性)。また、検査で要治療・要精密検査と判定がでも必ずがんというわけでもありません(偽陽性)。2年に1回、定期的に検査を受けることによって、早期発見に努めましょう。



※精密検査結果は富山市医師会健康管理センターも把握し、精度管理や今後のがん検診に役立てて参りますのでご了承ください。

富山市医師会健康管理センター

〒930-0951 富山市経堂4丁目1番36号 TEL:(076)422-4811 FAX:(076)422-4816

E-mail:kenshin@po5.nsk.ne.jp ホームページ:<http://www.tcma-kenkou.com/>

高濃度乳房については
Webにてご確認ください。

